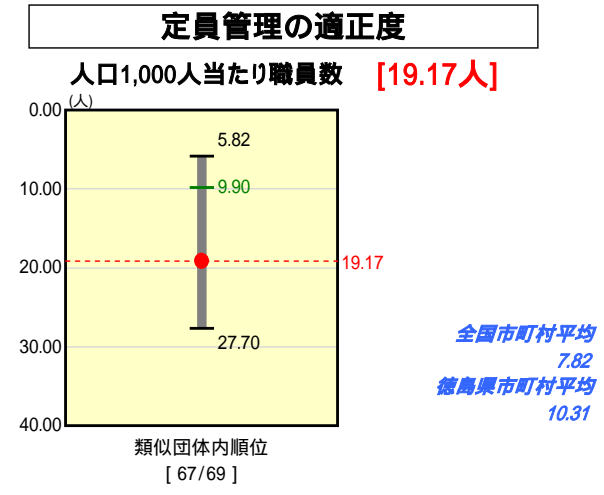
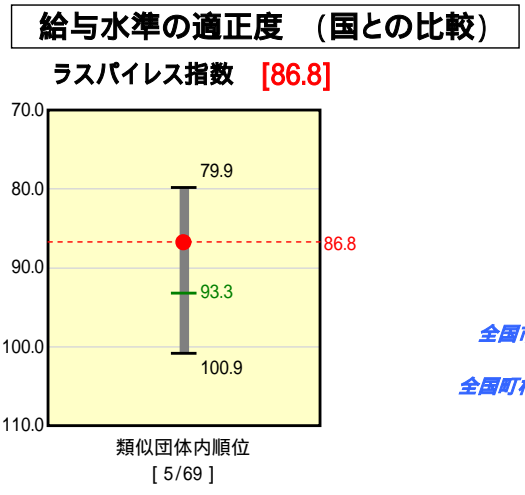
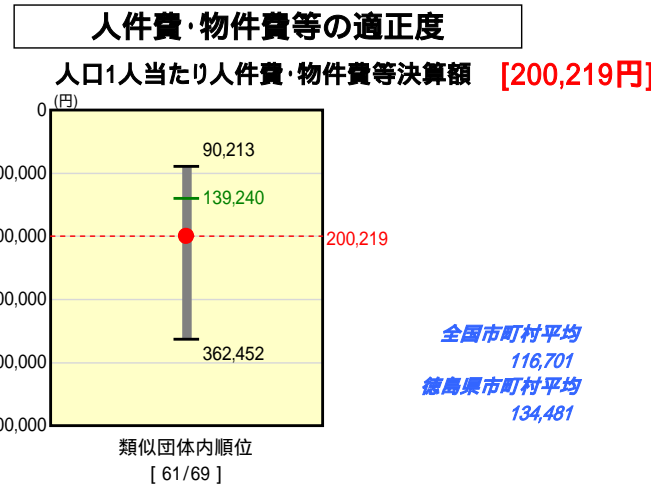
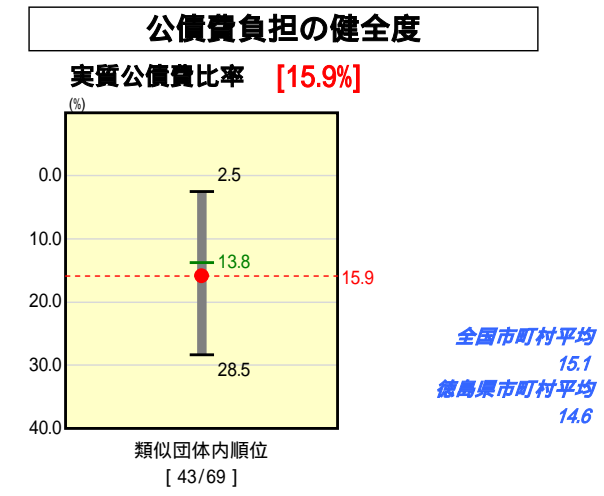
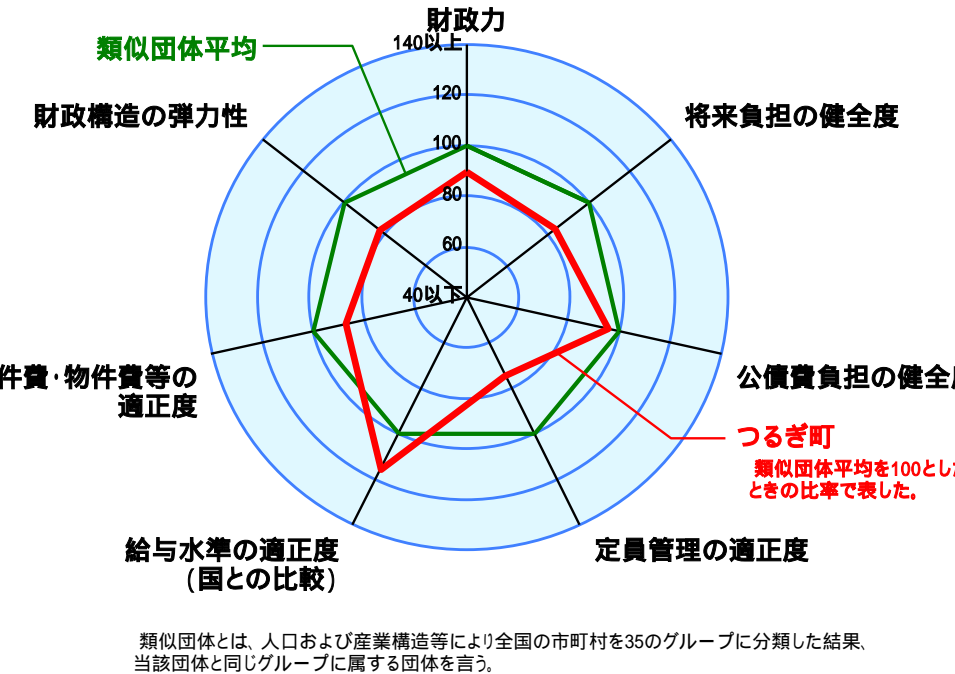
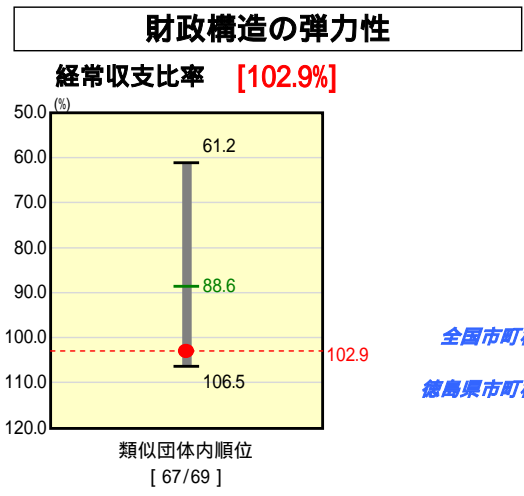
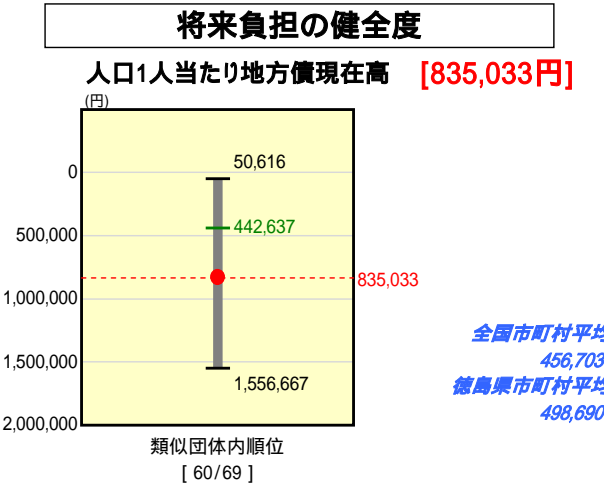
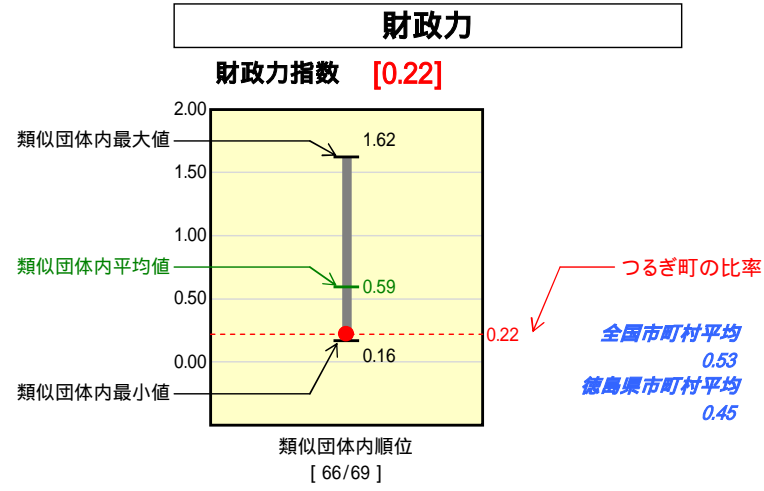


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

徳島県 つるぎ町

人口	12,000人	(H19.3.31現在)
面積	194.80	km ²
歳入総額	9,094,273	千円
歳出総額	8,833,152	千円
実質収支	193,111	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
人口減少や他地域よりも進んだ高齢化に加え、財政基盤が弱く、類似団体平均をかなり上回っている。組織の見直し、事務事業の峻別、投資的経費を抑制する等、歳出の徹底的な見直しを実施するとともに、税収の徴収率向上を中心に歳入確保に努め、活力あるまちづくりを展開しつつ、行政の効率化を図り、財政の健全化を目指す。

経常収支比率
100%を超える高率を示しており、平成18年度からの人件費カット、物件費(対前年度10%削減)、補助費(団体補助金は公益性を考慮し、補助率を設定)等の経常経費の削減に努めている。今後も引き続き人件費カットを継続し、事務事業の見直しを進め、経常収支比率90%以下を目標に、徹底した経費削減を図る。

ラスパイレス指数
平成18年度から職員の給与とカット(特別職10~15%、職員5%、管理職手当1%、議会議員報酬10%カット)等により、類似団体を下回り、人件費削減に効果を示している。今後も、各種手当の総点検を行い、集中改革プランに則った退職者5名に対し、1名新規採用を厳守し、よりいっそうの給与の適正化に努める。

実質公債比率
類似団体水準を少し上回っているが、今後緊急度、住民ニーズを的確に把握した事業の更なる検討により、起債に大きく依存している財政構造の改善を図る。

人口1人当たり地方債現在高
起債抑制に努めているが、類似団体を大きく上回っている。集中改革プランに基づき、新規地方債発行の抑制、繰上償還の検討等を図り、類似団体水準に近づけるよう努める。

人口1,000人当たり職員数
類似団体と比較すれば、本町の職員数は、2倍弱、管轄する面積は3倍近くになり、一概に比較は難しいが、集中改革プランに沿った退職者5名に対し新規採用1名により、現在の職員の10%削減に努める。また、民間委託の推進等を積極的に進め、職員数の適正化を目指す。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口一人当たりの金額が類似団体水準を大きく上回っているのは、人件費が主な要因となっている。今後は、民間でも実施可能な部分については、指定管理者制度の導入などにより委託化を進め、より一層のコスト削減を図っていく。